

第14次 実施計画シート兼初期診断書(継続用)

事務事業の概要	事務事業名	コミュニティバスの運行		整理No.	6
				作成年度	平成20年度
	担当課	地域安全課	事業別	<input checked="" type="checkbox"/> 非建設事業 <input type="checkbox"/> 建設事業	
	体系	大-中-小	II-2-(2)便利な交通機関	ページ	47
	施策のあらまし	② バス交通の利便性の向上			
	マニフェスト	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し			
	実施期間	平成14 年度～ (29) 年度 ( — 年間)			
	根拠法令要綱等	名称	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		市の実施義務	<input type="checkbox"/> 義務規定 <input type="checkbox"/> 努力規定 <input type="checkbox"/> 任意規定 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 全市民へ公共交通提供の必要あり )		
	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 ( )			

目的(何のために)	対象(何・誰を対象に)
本市が公共交通空白地域と定義する地域が連続して広がる東・北地区の公共交通を確保することを目的としてコミュニティバスを運行するもの	東・北地区住民
手段(どの様な事業を実施して)	成果(どのような成果を期待するか)
コミュニティバスの運行	公共交通空白地域の解消と同時に、幼児を連れての方、車の免許を持たない方などの交通手段の確保と、マイカーからの乗り換えの促進を図ることで交通渋滞の緩和と地球温暖化の防止を期待できる。

事業環境	筑紫地区等近隣自治体との比較(実施状況、サービス水準の平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 低い	・H10年4月太宰府市コミュニティバスまほろば号運行開始 ・H15年3月春日市コミュニティバスやよい号運行開始
他課等の関連事業	課名		
	事業名		

視点別評価	評価項目	1次		2次	
		1次	選択理由、特記事項等	2次	選択理由、特記事項等
市関与の妥当性	①市民等のニーズ	3	民間バス業者が撤退した公共交通空白地域解消のための移動手段の確保であり、行政の関与は妥当である。	3	1次診断のとおりである。
	②法的な義務性	1			
	③代替性	3			
	合計(9点中)	7			
手段・内容の適切さ	①担い手の妥当性	3	本事業は路線バス運行が可能な事業者の競争入札により決定した業者が、市の補助事業としてコミュニティバスを運行しているもの。 ②回100円の運賃を値上げした場合、乗客離れも予想され、かつ近隣も100円であり、慎重な対応が必要である。 ③赤字全額補助から、固定金額補助に協定を見直し、過去の平均補助額と比すると約3,600千円減額できた。	3	今後も補助金の削減に向けて、利用者の増加が図られる利便性の向上策(ダイヤや路線の見直し等)を継続的に検討することが望ましい。
	②受益者負担	2			
	③効率性	2			
	合計(9点中)	7			
有効性	①目的の達成状況	2	コミュニティバスを導入することにより公共交通空白地域の解消という目的は解消された。 ②成果の状況 ③上位施策への貢献度 今後は乗客や沿線住民のニーズ等に応しながら乗客数の更なる増加に向け検討する必要がある。	3	1次診断のとおりである。
	②成果の状況	3			
	③上位施策への貢献度	3			
	合計(9点中)	8			

1次(事業課)診断	診断結果	担当課長所見
	改善点及び改善を実現するための条件	
	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	北・東地区の交通機関を確保し、市内全域がいずれかの公共交通機関でカバーされることを目的として導入したものであり、利用者の増加傾向にあることから市民の移動手段として定着したと思慮する。  利用者数の増加が課題である。広報活動は勿論だが、利用者が少ない地域への運行の是非と併せて利用者が見込める地域への乗り入れなど、定期的に運行見直しは必要である。その際に運行経費が大きく増加するようなことは避けなければならない。

2次診断	診断結果	診断理由等	事業費		人員	
			増加	維持	拡大	維持
	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	補助額を削減するため、利用者をいかに増加させるかの検討が急務である。今後も引き続き、鉄道などの他の交通機関との連絡性の向上や利便性の高いダイヤ、ルートなど継続的な見直しが必要であるが、今後の料金のあり方についての検討も必要であると考え。	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> なし		